

市議会だより

第69号

2021(令和3)年
5月10日発行



女子サッカー交流試合(三次きんさいスタジアム特設コート)【3月25日撮影】

令和3年3月定例会終わる

こんなことが決まりました	2
当初予算審議	4
委員会審査	6
市政を問う(一般質問)	8
議会のうごき	15

三次市議会のホームページもご覧ください。

市議会のページ

<http://www.city.miyoshi.hiroshima.jp>



決まりました

3月定例会を2月26日(金)から3月19日(金)まで開催し、議案55件を原案のとおり可決しました。

新設された条例

避難行動要支援者名簿に関する条例

PICK UP 全員一致

精神障害者医療費支給条例

全員一致

医師育成奨学金貸付条例

全員一致

住宅の浸水対策に関する土地利用条例

PICK UP 全員一致

一部改正された条例

固定資産評価審査委員会条例等の一部を改正する条例

全員一致

公益的法人等への職員派遣等に関する条例の一部を改正する条例

全員一致

地域集会所設置及び管理条例の一部を改正する条例

全員一致

体育施設設置及び管理条例の一部を改正する条例

全員一致

市営水泳プール設置及び管理条例の一部を改正する条例

全員一致

重度心身障害者医療費支給条例等の一部を改正する条例

全員一致

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

賛成多数

斎場設置及び管理条例の一部を改正する条例

全員一致

小規模老人ホーム設置及び管理条例を廃止する条例

全員一致

老人集会施設設置及び管理条例を廃止する条例

全員一致

介護保険条例の一部を改正する条例

全員一致

介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の一部を改正する条例

全員一致

介護保険法に基づく指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部を改正する条例

全員一致

介護保険法に基づく指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部を改正する条例

全員一致

指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例

全員一致

農村ふるさとセンター設置及び管理条例を廃止する条例

全員一致

農林業集会所施設設置及び管理条例の一部を改正する条例

全員一致

広島ふるさと村設置及び管理条例等の一部を改正する条例

全員一致

共同福祉施設設置及び管理条例を廃止する条例

全員一致

オフィスビジネス系事業所立地促進条例の一部を改正する条例

全員一致

手数料徴収条例の一部を改正する条例

全員一致

新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

全員一致

議会委員会条例の一部を改正する条例

全員一致

その他の議案

広島市と三次市との連携中核都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について

全員一致

指定管理者の指定について

全員一致

工事請負契約の締結について

全員一致

人権擁護委員の候補者の推薦について

PICK UP 全員一致

三次市教育長の任命の同意を求めることについて

PICK UP 全員一致

三次市教育委員会委員の任命の同意を求めることについて

PICK UP 全員一致

PICK UP

詳しい議案の内容についてはこちら→



- 避難行動要支援者名簿に関する条例
災害時における避難行動要支援者の円滑な避難を図るため、避難行動要支援者名簿の作成及び関係機関への提供について定めるもの。
- 住宅の浸水対策に関する土地利用条例
内水氾濫による浸水被害から市民の生命、身体及び財産を保護するため、住宅の浸水被害の防止に関する必要な事項を定めるもの。
- 人権擁護委員の候補者の推薦について
行政豊彦(十日市西)、河野教恩(向江田町)、小武正教(東河内町)、藤越秀明(三次町)
(任期は令和3年7月1日から3年間の予定)
- 三次市教育長の任命の同意を求めることについて
迫田隆範(日下町)
(任期は令和3年5月1日から3年間)
- 三次市教育委員会委員の任命の同意を求めることについて
深水顕真(上志和地町)
(任期は令和3年5月14日から4年間)

令和3年3月定例会

こんなことが

令和2年度 一般会計予算の補正(第11号)

補正額 340万4千円追加

総額 466億8,914万6千円

- 主な使い道
 - ・参議院議員再選挙経費 340万4千円

令和2年度 一般会計予算の補正(第12号)

補正額 4億4,516万5千円追加

総額 471億3,431万1千円

- 主な使い道
 - ・ケーブルテレビ設備改修事業 1億6,292万円
 - ・現年災害復旧事業(農林施設) 1億5,854万円
 - ◆新型コロナウイルスワクチン接種事業 3,191万5千円
 - ◆小中学校新型コロナウイルス感染症対策事業 2,840万円
 - ◆小児・妊婦インフルエンザワクチン接種事業 551万7千円
- (◆印は新型コロナウイルス感染症対応分) など

■3月定例会 審議結果(全員一致以外のもの)

○…賛成 ×…反対

補正予算の概要はこちら→
3月補正予算をご覧ください



区 分	会 派	ともえ		明日への風				真正会		会派 未来		清友会		公明党		日本共産党	市民の声									
		小田	新家	弓掛	藤井	月橋	掛田	藤岡	徳岡	増田	山田	杉原	齊木	鈴木	横光	竹原	大森	新田	穴戸	保実	山村	黒木	中原	伊藤	重信	
議案第3号 令和3年度三次市国民健康保険特別会計予算(案)	可決(賛成多数)	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第30号 三次市国民健康保険税条例の一部を改正する条例(案)	可決(賛成多数)	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

議案第3号に対し、討論がありました

伊藤議員

反対 本市では、18歳まで医療費の助成で、負担が抑えられているにも関わらず、国保世帯では均等割を負担している。地方創生臨時交付金の活用もできるのではないか。特に、今年度はコロナ禍で市民生活は大変な状況だ。このような時期に、国民健康保険税の値上げで負担を増すことは、市民生活を守る行政として許されるものではない。

賛成 本市では、県が示す保険税率を単年度で設定すると急激な負担になるため、令和6年度までの5年間の経過措置期間を設け、隔年で税率改正を行うことで、負担感を少しでも減らそうと取り組んでおり、市民の皆さんの御理解のもと着実に進められるべきだ。広く市民が安心できる国民健康保険事業とすべく、議会としても予算を可決し、確実に事業が執行されることが必要である。

藤井議員

伊藤議員

反対 国や県の制度に従うのではなく、市独自に対策を講じることが必要ではないか。このような時期に税率改正で、値上げになる条例改正について反対とする。

賛成 安心できる国民健康保険事業を継続していくために、値上げに関しては喜ばしいことではないが、制度を維持していくためには必要なことだ。

小田議員

令和3年度予算を可決

一般会計 **370億3千万円** (対前年度比 +1.2% 4億5千万円の増)

【特別会計予算】 133億 710万 8千円

【公営企業会計予算】 133億 3,863万 7千円 (収益的収支)

53億 8,961万 3千円 (資本的収支)

【総額予算規模】 690億 6,535万 8千円

(対前年度比▲1.4% 10億 180万 3千円の減)



令和3年度当初
予算の概要につ
いてはこちら

市議会注目の予算

※予算決算常任委員会各分科会での重点項目に上がった事業の予算です。

5,900万円 DX・スマートシティ推進事業 ICTを活用するための取組	4,809万2千円 定住対策経費 (みよし暮らし推進事業) 「三次を選んでもらう、定住につなぐ、三次に住み続けてもらう」総合的な支援の実施	4,224万円 ネウボラみよしDX事業 ネウボラみよしにおける情報の一元化による、迅速かつ効率的な関係部署との情報共有を図るためのシステム構築	10億3,160万円 学校給食調理場経費 新たな学校給食調理場の整備
5,034万円 地域医療介護総合確保事業補助金 介護施設等の施設開設準備経費支援事業に係る補助金	200万円 水道広域連携 (水道事業会計) 広島県広域連携企業団設立準備組織に係る負担金	3,320万円 農地等保全事業 (有害鳥獣対策) 有害鳥獣被害防止柵設置、有害鳥獣駆除活動等の支援	6,000万円 三次版DMO事業 みよし観光まちづくり機構への組織運営及び事業に対する補助

令和3年度 一般会計予算の補正(第1号)

補正額 4,517万1千円追加

総額 370億7,517万1千円

- 主な使い道
- ・参議院議員再選挙経費 4,517万1千円

令和3年度補正予算の詳細はこちら →
3月補正予算をご覧ください



令和3年度 一般会計予算の補正(第2号)

補正額 7億3,029万6千円追加

総額 378億546万7千円

- 主な使い道 ~新型コロナウイルス感染症対策~
- ◆公共施設自動水栓整備事業 1,500万円
- ◆公共施設公衆無線LAN整備事業 670万円
- ◆高齢者応援商品券事業 1億1,104万円
- ◆子育て世帯応援商品券事業 8,260万円
- ◆新型コロナウイルスワクチン接種事業 2億4,040万6千円
- ◆中小企業者応援給付金 9,000万円

など

予算審議

— 補正予算 —

定例会で、予算決算常任委員会に審査付託となった議案19件について、3月10日から17日まで委員会を開催しました。

【付託議案】

議案第2号令和3年度三次市一般会計予算(案)ほか18議案

【審査結果】

議案第3号以外いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

議案第3号賛成多数をもって原案のとおり可決

【各分科会重点項目】

総務分科会

・DX・スマートシティ推進経費

・定住対策経費

教育民生分科会

・母子保健推進経費

・ネウボラみよしDX事業

・学校給食調理場経費

・老人福祉経費

・地域医療介護総合確保事業補助金

産業建設分科会

・水道事業会計

・(水道広域連携)

・農業振興経費

・(農地等保全事業(有害鳥獣対策))

・観光推進経費

・(三次版DMO事業)

委員長報告

【議案に対する指摘及び意見】

議案第2号「令和3年度三次市一般会計予算案」については、自治活動拠点施設管理経費の杉杉コミュニティセンター改修工事にあつては、杉杉地域の拠点整備に係るこれまでの取組の経過を踏まえ、地域との合意形成を十分に行つたうえで執行されたい。

土木費における事業は、災害復旧事業を優先するためやむを得ず中断した計画について、災害復旧事業の進捗に合わせて積極的に再開を図られたい。

議案第8号「令和3年度三次市病院事業会計予算案」については、今後、厳しい財政状況の中で病院施設の改修等が必要になつてくる。これに対応するための計画について検討されたい。

議案第9号「令和3年度三次市水道事業会計予算案」については、水道広域連携に当たつて、将来的に水の需要に対し不均衡なく安定供給できること、災害に対する迅速な連携、負債整理を考慮した経営体制の確立を担保すること、施設の修繕・改修の計画的実施について、自主性を保ちながら公共サービスが低下しないよう協議を進められたい。



予算決算常任委員長報告の様子

各会派代表による総括質疑が行われました

ともえ（小田議員）

予算における選択と集中の考えは

市長 事業を精査し、効果の低くなつてきている事業は内容を見直し、事業費の削減を図り、内部管理経費は徹底した削減をしながら全体的に事業費を抑制することで、財源を捻出し予算編成をした。

明日への風（藤岡議員）

地域資源を活かした産業づくり

市長 三次産の農作物の可能性を掘り起こし、新たな付加価値を創出するなど、地域資源を活用した新たな事業を展開することで、農業所得の向上や地域農業の振興及び発展につなげていきたい。

真正会（横光議員）

農業施策の推進と地域振興について

市長 新たに農業を志す人を支援する体制の充実を図り、次代を担う人材の育成を重点的に取り組んでいきたい。振興作物を中心にICT技術を活用した新たな農業経営モデルを確立し、農業の省力化、効率化、高収量化などに取り組み、農業所得の向上を図っていきたい。

会派 未来（新田議員）

情報政策監の役割と政策推進についての課題

（インターネット、SNS等での人権侵害から守る取組）



総括質疑の様子

市長 関係機関と連携を図りながら、相談窓口の周知及び相談等への対応に努め、人権を守っていく取組を進める。インターネット上の誹謗中傷への対応については人権担当部署で対応していく。

清友会（保実議員）

通年議会導入を想定した議会費予算と事務局体制の充実に ついて

市長 臨時議会では、円滑な議会運営と、慎重な審議を行つていただいた。通年議会を導入しないことによつて、事業の進捗が遅れが生じたということはないと考えている。通年議会は、徐々に導入団体が広がつていく状況ではないため、慎重な調査研究が必要である。

これからも通年議会の導入にかかわらず2元代表制のもと、議会と市長それぞれの役割と責務が全うできるよう、議会に対しても迅速な情報提供や真摯な説明を行うことが重要だと考えている。

市民の声（重信議員）

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略作成

市長 DXでは、デジタル技術による市民サービスの向上あるいは事務の効率化といった行政分野だけでなく、暮らしの分野においても、教育や防災、健康、医療、子育てなど、身近な暮らしをより便利にすることに取り組んでいる。令和3年度の具体的な取組は、高齢者向けのスマートフォン教室や事業者向けセミナーなどを開催し、利便性や活用効果を感じていただき、取組を広げていきたい。



総括質疑の様子

委員会審査

委員長報告

定例会で、各常任委員会に審査付託となった議案等について、3月4日～8日に各委員会を開催しました。

産業建設常任委員会 3月4日開催

【付託議案等】

議案第23号「三次市住宅の浸水対策に関する土地利用条例(案)」ほか7議案

【審査結果】

いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

【議案に対する指摘及び意見】

議案第23号「三次市住宅の浸水対策に関する土地利用条例(案)」については市民の理解を得られるよう、制度の積極的な啓発を行い、防災・減災に努められたい。



産業建設常任委員会現地確認の様子

総務常任委員会 3月5日開催

【付託議案】

議案第20号「三次市避難行動要支援者名簿に関する条例(案)」ほか6議案

【審査結果】

いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

【議案に対する指摘及び意見】

議案第20号「三次市避難行動要支援者名簿に関する条例(案)」については、関係機関と連携し、名簿の取扱いや情報更新、要支援者の個別計画の作成及び個人情報保護の適切な取扱いの方法等について十分に準備し、有効な制度を速やかに構築されたい。これまで以上に災害時における避難行動が迅速かつ円滑に行われることを期待する。



総務常任委員会連合審査会の様子

議案第45号「広島市と三次市との連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について」は、経済・定住・観光などあらゆる分野を通じて、本市の独自性を担保しつつ、魅力を十分に発信され、圏域の発展に努められたい。また、その協議等の経過については、適宜、議会にも報告されたい。

教育民生常任委員会 3月8日開催

【付託議案】

議案第21号「三次市精神障害者医療費支給条例(案)」ほか13議案

【審査結果】

いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

【議案に対する指摘及び意見】

議案第22号「三次市医師育成奨学金貸付条例(案)」については、周知活動や奨学生に対するフォローアップによって事業成果が上がるよう、長期的な視点を持って取り組まれたり。

議案第30号「三次市国民健康保険税条例の一部を改正する条例(案)」については、税率改正の必要性について市民に対する説明をこれからも丁寧に行うと共に、新型コロナウイルス感染症の影響に係る減免等の継続の検討も続けられたい。



教育民生常任委員会の様子



定例会では、1日1常任委員会のケーブルテレビ中継を実施しています。ぜひご覧ください。

※インターネット配信及び再放送は行っていません。



各委員長報告の全文はこちら



令和3年 第2回臨時会

第2回臨時会を4月23日(金)に開催し、次のことが決まりました。

【その他の議案】

■固定資産評価員の選任の同意を求めることについて

全員一致

議案の詳しい内容についてはこちら →



固定資産評価員

山本政幸（市民部課税課長）

令和3年度 一般会計予算の補正（第3号）

補正額 3,979万円追加

総額 378億4,525万7千円

■主な使い道 ～新型コロナウイルス感染症対策～

◆子育て世帯生活支援特別給付金給付事業

3,979万円

補正予算の詳しい内容についてはこちら →
4月補正予算をご覧ください。



議長の定例記者会見を実施しました

定例会での審議等の総括、議会日程等を広く市民の皆様にお伝えするため、定例会最終日に議長の定例記者会見を実施しました。

1 令和3年3月定例会の総括について

- (1) 令和3年度当初予算について
- (2) 補正予算について
- (3) 一般質問
- (4) 3常任委員会審査

2 意見交換



高校生との意見交換会の報告をしました

令和2年11月から令和3年1月にかけて開催した高校生との意見交換会の報告書を広報広聴常任委員長が各高校へ持参しました。

報告書には広報広聴常任委員の議員が中心となって考察したアンケートや生徒のみなさんへのメッセージを掲載しています。

若い人達にも政治に興味を持って頂けるように、引き続き活動してまいります。



報告書はホームページからもご覧いただけます。



市議会へのご意見をお待ちしています

三次市議会では、開かれた議会の実現を目指し市民の皆様からのご意見や感想をお待ちしています。お気軽にホームページの送信フォームやメール、郵送、FAX いずれかの方法でお寄せください。

New 令和3年5月10日から令和3年8月10日まで、ホームページにご意見送信フォームを設置します。ぜひお気軽にご利用ください。

頂いたご意見については、広報広聴常任委員会で確認し、議会全体でも共有させていただきますが、個別に回答するものではないことをご了承ください。また、個人情報に配慮した上で内容の一部を議会だより等で広くご紹介させていただく場合がございます。

お願い

- ・住所、氏名、連絡先（メールアドレスなど）をご記入ください。
- ・陳情及び請願書に類するものや議員個人宛のものは別途ご提出ください。
- ・市の業務に関することは市民のポスト（秘書広報課）をご利用ください。
- ・誹謗中傷や営利目的と判断されるものは取り扱いません。

■ 郵送の場合

〒728-8501
三次市十日市中二丁目8番1号
三次市議会事務局「市議会へのご意見」宛

■ メール、FAX の場合

Mail : gikaijimu@city.miyoshi.hiroshima.jp
FAX : 0824-62-6110

詳しくは市議会ホームページまで



みなさまからのご意見お待ちしております。

市政を問う



3月定例会では、13人が市政をただしました。質問と答弁の一部を紹介します。
また、ホームページでは一般質問の日程や質問内容の一覧も公開しています。
議会終了後には会議録や本会議の録画映像もご覧いただけます。

一般質問一覧



詳細はこちらにアクセス

三次市議会

検索

質問1 2021年度市政方針について



たかよし 竹原 孝剛
会派 未来



- ① 財政状況が厳しくなっていく中、インフラの整備・維持に対する考えは
- ② 災害に備え大規模な訓練の必要性はどうか
- ③ 小中学生のタブレット使用の取組は
- ④ 移住定住対策は
- ⑤ 広島広域都市圏の活用は
- ⑥ オリニピックの聖火リレーの取組は
- ⑦ 男女共同参画の推進は

答弁1 2021年度市政方針への質問に答える

① 将来を担う子どもたちの負担とならないよう計画的かつ効率的に整備を進めたい。

川村危機管理監

② 出水期前に関係機関と連携して大規模な洪水を想定した訓練を行い、併せて市民の防災意識の向上を図りたい。

松村教育長

③ 児童生徒が利用するタブレット端末を学校外でも使用できるように、適応指導教室、放課後児童クラブや放課後子ども教室のネットワーク環境を整備し、各家庭の環境整備の補助も行っている。

中原地域振興部長

④ 人と人とのつながりを大切にしながら総合的な移住者支援として、みよし暮らし推進事業に取り組む。

- ⑤ 圏域の人々を呼び込む取組を強化し、発信力を高め、新型コロナウイルス感染症収束後には、広島広域都市圏域や海外等の観光、商業分野での需要に応えていく力にしていきたい。
- ⑥ 県とともに安全・安心な聖火リレーの実施に努めることで、実施してよかったと思っただけの1日としたい。

宮脇経営企画部長

質問2 ジェンダー平等の取組について

⑦ 国際女性デーや男女共同参画週間などを中心に、広報みよしでの啓発、講演会やセミナーなどの啓発事業を実施していく。

答弁2 性の多様性を尊重できる取組を進める必要がある

市長の記者会見の見解で「制度の緊急性はない」と発表をしているが、真意はどうか。また2017年6月定例会で「LGBTの理解を深めていく」と部長答弁があったが、具体化はどう取り組んだのか、今後相談員の設置など、行政として積極的な施策をすべきだがかがが。

福岡市長

性の多様性への理解は重要と考えており、パートナーシップ宣誓制度の社会的な必要性も認識している。正しい知識の周知を進め、性的マイノリティへの理解を深め、性の多様性を尊重できる取組を進めることが必要との思いで発言したものだ。

中原地域振興部長

「ひと・かがやきフェスタ」で、性的マイノリティに関する人権講演会の開催や、人権啓発パネル展示、人権啓発小冊子の配布などにより、性の多様性について啓発を図ってきた。性の多様性への理解の浸透のために、市広報紙やホームページ等の内容の充実や積極的な発信を行うとともに、市民向けセミナーの開催など効果的な手法により啓発を行っていく。



質問1 新型コロナウイルス感染症に対する取組と情報発信は

現在コロナ問題は世界的な問題となつてきている。その中で三次市のPCR検査の実態はどうなっているのか。詳しい検査のデータに基づいて、市のコロナに対する方向性が決まると思うがどうか。またその情報を市民に対していつ明らかにするのか伺う。

答弁1 若い世代から年配まで周知ができるよう発信したい

1月のクラスター発生時以降、三次PCRセンターでの検査件数と県が公表する本市の感染状況を照らし合わせ、市での感染拡大は無かったものと認識している。積極的疫学調査によりクラスターを収束させた状況にある。

福岡市長

できる限りの情報をできる限りの媒体を使って発信している。可能な限り重層的に若い世代から年配の方まで周知ができるよう発信手段を駆使して、情報提供していくことを繰り返し行ってきた。

質問2 現在三次市で起きている水質・臭気問題について伺う

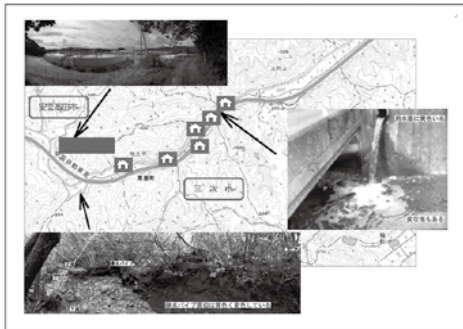
三次市と安芸高田市の境界に現在3万8千頭の豚が飼育されている。この施設が出す排水や臭いにより健康被害を訴える方もいる。

県と安芸高田市に指導をお願いしているところだが、現在に至るまで何の動きもなく、市民のために何らかの措置をお願いしたい。

答弁2 市としてできる限り改善に向けた対応をしていく

本市としては関係機関と連携した取組を実施していく、引き続き環境保全協定書、覚書に基づき、その都度、住民の声を業者者に伝え改善策についての指示を行い、市としてできる限り改善に向けた対応をしていく考えである。

上谷市民部長



三次市で起きている水質・臭気問題



質問1 拡大を続ける野生鳥獣被害への対策は

野生鳥獣被害は地域や行政の努力で捕獲数が増えているにも関わらず、生息数・農作物等被害額・面積共に増加している。また、近年熊の生息域拡大に伴い、被害は深刻化している。学校施設への被害は衛生面でも憂慮される。更なる対策は。



イノシシやシカが芝生を掘り起こし、糞が散乱する甲奴小学校グラウンド

答弁1 学校と相談しながら有効な対策を検討し、対応したい

学校周辺に杭を打ち、ビニールテープを張り巡らせたり、花壇に柵を設置し、イノシシや鹿の侵入を防ぐなどの対策を講じているが、被害はなくなっていない。引き続き学校現場と相談しながら、有効な対策を検討し、対応したい。

甲斐教育次長

質問2 三次市こども発達支援センターにおける運営ビジョンの明確化を

三次市こども発達支援センターは、子育て支援センターを併設して取組を進める。指導員には専門性が求められるが、研修や教室ごとのチーム会議等十分な時間が確保できず、未達成感があるのではないかと。現場の声を反映した運営ビジョンが必要では。

答弁2 今後も細やかな情報共有に努める

来年度は、今年度より教室数が減る見込みなので、しっかりと研修や教室前後のカンファレンスの時間等も取れるよう配慮をしたい。こども発達支援センター職員と子育て支援部とのビジョンの共有については、今後も細やかな情報共有に努める。

松長子育て支援部長



質問1 野生動物・ペット監視機能導入の要望を

家畜だけでなく、野生動物・ペットが新たな感染症の発生源となる事例が多いとの報道がある。本県でも鳥インフルや豚熱などの脅威にさらされている。家畜だけを対象とした法律はあるが、法のすき間を埋める必要がある。市長会等への要望を。

答弁1 社会情勢の動向を情報収集していききたい

広島県では、動物により所管部署が異なるが、連携して家畜伝染病の蔓延防止に当たられている。現段階ではイノシシ、野鳥、ペットの検査や監視をする担当部署を一元化する要望は考えていないが、社会情勢の動向を情報収集していきたい。

質問2 学校等への水道蛇口のレバー式導入の検討は

昨年6月に小中学校の蛇口をレバー式に交換することが、感染症予防になると

提案したが、検討結果を伺う。また「市内のコミュニティセンターや災害のときの避難所」などへの導入や、こども発達支援センター、保育所への導入の検討結果はどうなったか。

答弁2 水道を増設する際に一部導入した

その後、塩町中学校の水道を増設する際にレバー式を導入した。各学校の校長の裁量で新型コロナウイルス対策を行う補正予算を可決いただき、この予算により、水道のレバー式の蛇口も取付けが可能ということを学校へも話している。

細美総務部長
コミュニティセンターを含め、公共施設の水道蛇口交換は、施設の利用状況、費用対効果等を見極めながら検討していきたい。



自動水栓も感染症予防になる



質問1 感染拡大防止の中での市民への影響は

三次市は、新型コロナウイルス感染症対策として、テレワークやウェブ会議などを活用して感染拡大防止に努められたと聞いている。行政の役割とは、住民福祉が第一であると考えるが、住民サービスの低下や業務等への影響はなかったのか

同。



テレワークによる住民サービスの低下はないか

答弁1 現在のところご指摘のような問題は特にな

堀川副市長
ウェブ会議を実施することで、移動時間が省略でき、その時間を市民にきめ細かく、より丁寧に対応することも可能になり、市政の課題において、市職員がより深く検討するような時間も確保できる。また、各部署で試行しているテレワークは住民サービスを落とさないように推進するというところで、事務分担や休暇の取得状況も考慮した上で実施している。現在のところ、ご指摘のような影響は特に伺っていない。

質問2 施設の長寿命化計画について伺う

国から、令和2年度中に「個別に施設毎の長寿命化計画」を策定するよう求められていた。三次市においては、建築後40年以上を経過しているものもあり、個別計画に合わせて全体のバランスも必要だと思いが、今後の計画について所見を伺う。

答弁2 今後の方向性を整理していく考えである

細美総務部長
個別施設計画ができた後については、それぞれの個別施設計画の中で、施設毎に5種類の分類を今後の方針として考えている。現状維持、譲渡、廃止、解体、あり方検討、この5種類で今後の方向性を整理していく考えである。



しのぶ よしのり
重信 好範
市民の声

質問1 市発注工事における土壌汚染対策法に基づく手続きの未届の原因及び今後の対策は

市公共工事において、平成27年度から令和2年度実施中の事業50件が、土壌汚染対策法に基づく手続きの未届が判明した。このように至った原因及び今後の対策を伺う。

答弁1 情報共有を図り、再発防止に努めたい

原因は、法に対する認識不足や情報共有が不足していたもので、昨年11月に県と協議を行い、必要な書類について確認のうえ、順次提出をしている。今後このような事がないように、情報共有を図るとともに、職員の研修等を行い、再発防止に努めていきたい。

質問2 コロナ禍での市立三次中央病院が入院患者に対して行う寄り添う気持の指導は

コロナ禍での入院患者は家族や友人と面会時間を制限され、不安を抱えている。大きく環境が変わった病院内では、医療



市立三次中央病院

従事者の役割は重要と考える。入院患者に対して行う寄り添う気持ちの指導を伺う。

答弁2 日々患者の支援に取り組んでいきたい

片岡市民病院部事務部長
昨年の12月7日から、新型コロナウイルス感染症防止対策として面会禁止の状況が続いており、患者本人や家族へ心配をかけている。面会禁止による弊害や、つらい思いを少しでも緩和していくよう、患者の思いをしっかり傾聴し、患者の立場に立った環境づくりに努める。
これからも患者の尊厳を大切に、患者自身の持つ力を信じ、日々患者の支援に取り組んでいきたい。



いとう よしのり
伊藤 芳則
日本共産党

質問1 国民健康保険税の子ども分の「均等割」の廃止はできないか

県の統一化で国保税の負担が増しているが、三次市は子ども医療費は無償にしているが、国保世帯では子ども分の「均等割」の負担があり無償とは言えない。約2千万円の繰入で子ども分の「均等割」を廃止することができるのではないか。

答弁1 国保全体の在り方を検討する中で、国で議論されるものだ

上谷市民部長
国民健康保険の子どもに係る均等割は、医療保険制度間の公平と、子育て世帯の負担軽減といった観点から、全国知事会、全国市長会から国に対して、軽減を求める要望が継続して提出されており、全国的な課題だと認識している。本市としても、年2回の春・秋期の広島県市長会を通じて毎年要望している。
ご指摘の均等割の廃止は、法の制度上の規定なので、国保全体の在り方を検討する中で、国で議論されるものであると考えている。

質問2 こども発達支援センターの充実を

市直営で運営している同センターは、支援が必要な子どもが増加し、対応が十分でなくなってきたのではないかと。専門知識の蓄積が必要であり、継続的な人員配置で対応していかなければならないのではないかと。

答弁2 サービスがしっかりと確保できるように努力したい

松長子育て支援部長
体制としては、開設当初より年々充実した体制となっている。正規職員を中心として、会計年度任用職員の指導員による体制を組んで運営していきたい。

福岡市長
限られた人員ではあるが、これまでのサービスがしっかりと確保できるように努力していきたい。



こども発達支援センター
(粟屋西自治交流センター内)



質問1
三次町の諸問題への取組は

- ① JR尾関山駅の跡地利用の進捗状況は
- ② 医院の閉院・食品スーパーの閉店と続く中、三次町の衰退をどう防ぐか
- ③ 寺戸・中所・小文地区の内水排水対策についてどのように善処されるか

答弁1
市民の声を聞き検討する

宮脇経営企画部長
①具体的な活用の方角性を決定するまでには至っていない。準備を進めている三次地区にぎわい創出事業の中で、旧尾関山駅周辺の位置づけについても活用方法等を検討したい。



三次町に新設された太歳神社のトイレ

中原地域振興部長
②市内外の方々、まちづくりの担い手である若い世代と住民自治組織をつなげていく取組を引き続き行い、地域が中心となって、三次町を活性化していくためのサポートを引き続き行っていきたい。

川村危機管理監
③国が提唱する「流域治水」の考え方を踏まえ、内水被害に遭いにくい住まい方をしていただく政策誘導をしていくことを基本としつつ、被害の軽減を図るため、排水等についても検討していきたい。

質問2
コロナ禍の中小企業支援を

新型コロナウイルス感染症拡大により、飲食業を中心にひどい状況が続いている。金融機関の積極的融資により頑張っておられるが、元本返済猶予期間も終われば、非常に厳しい状況が予想される。今後の中小企業支援についての考えを問う。

答弁2
それぞれの支援を活用し
厳しい状況を乗り越えていきたい

福岡市長
事業者への支援策として、現在、中小企業者金融支援補助金、雇用調整助成金等活用促進事業補助金、飲食事業者支援給付金、地域経済の活性化策としてキャッシュレスキャンペーンを実施している。経済対策も三次市単独でできる対策とできない対策があり、国の経済対策や県の支援等を機動的、有効的に活用し、この厳しい状況を乗り越えていきたい。



質問1
三次版学校ICT活用事業のWi-Fi整備は

家庭にWi-Fi環境が無い子ども達は、タブレットを持ち帰っても宿題などの勉強ができない。Wi-Fi難民にならないように、全ての公共施設にWi-Fi整備をしていただきたい。その中でも、これからの図書館のあり方について伺う。



学校でのICT活用（甲奴小学校）

答弁1
児童の学習支援として
整備を進めている

甲斐教育次長
三次版ICT活用事業の実施に向けて、学校施設のWi-Fi環境整備と併せて、児童生徒の家庭におけるWi-Fi環境整備への支援を行っている。さらに、放課後における児童の学習支援として、放課後児童クラブ、放課後子ども教室へもWi-Fi環境の整備を進めている。図書館については、より良いサービスのあり方を調査・研究する。

質問2
部活動の地域移行の準備状況は

令和5年度から段階的に実施される、休日の部活動を学校主体から地域主体にしていくことについて伺う。第一段階として、スポーツや文化に携わってきた、もしくは過去に携わっていた指導者や教職員OBなどの指導者バンクは作れないか伺う。

答弁2
本市に合った地域移行の在り方を
研究していく

松村教育長
来年度、検討委員会を設置し、各学校の部活動の実施状況や地域のスポーツ団体、文化団体の状況などを調査し、先進的に取り組む地域への視察などを行ったりしながら、本市に合った部活動の地域移行の在り方を研究していくように考えている。



質問1 広島県水道広域連携で不利益はないか

広島県水道広域連携は、広島市や福山市等を除いた、水の生産性の低い市町の連携とも言われている。10年後以降を考えた時、三次市がより水の生産性の低い市町を支えるため、この度の三次旧市内と同様な料金の値上げをすることとなるのではないか。

答弁1 他市の負担を三次市が背負うということは考えにくい

明賀水道局長

広域連携には広島県が参画し経営基盤の安定が図れることが一番のメリットだと考える。三次市は県内でも給水収益に対する借金の率が高い位置におり、料金回収率が75%に満たない状態だ。10年でその格差を縮めたとしても他市をカバーできる状況は想像しにくい。そのため他市の負担を三次市が背負うということは考えにくい。

質問2 馬洗川右岸（畠敷・願万寺地区）における内水対策は

この度の内水対策は、市・国・県との協議の結果、床上浸水を解消する対策とのことだが、三次市として床下を基準とした対策は検討しないのか。

答弁2 床上浸水の解消により床下浸水も改善される

坂井建設部長

床下浸水を全て解消することは莫大な経費等もかかり、現実的には無理ではないかと考えている。国によるポンプの増設や河道掘削、県による大谷川の堤防のかさ上げ、市による雨水貯留施設の設置や、土地利用規制等の実施により、平成30年7月豪雨相当の降雨に対し、浸水家屋の約8割は被害が解消される。なお、床上浸水を解消することは、全体的に水位を下げることであり、床下浸水も改善される。



平成30年7月水害（市民ホールきりり屋上から）



質問1 芸備線の高速化・時間短縮を

都市間輸送の機能を維持することが路線を守ることとなる。振り子車両の導入は時短効果が大変大きく、三次・広島駅間で1時間を切るような設定も可能と思われる。少しでも時間短縮ができるよう、先行事例を参考にして調査・研究を進める考えは。

答弁1 地域公共交通手段を確保するため、引き続き努力したい

中原地域振興部長

高速化には新型車両導入の他、線形改良や軌道強化等地上工事等の方法があるが、いずれも多額の費用が必要で慎重に検討する必要がある。また高速化にあたっては、その路線の線形や特徴等により必要な工事が異なり、他の事例が必ずしも参考にならない面もあると認識している。



芸備線の高速化を

福岡市長

広島～三次駅間が1時間以内に結ばれる効果は大きい。どうすれば実現できるかも踏まえ、JR西日本と協議を望んでいきたい。芸備線対策協議会の会長として沿線自治体も含めて要望活動を行い、地域公共交通手段を確保するため引き続き努力したい。

質問2 老朽化が進む東光保育所における施設整備の検討を

三次市立保育所は築年数30年以上の施設が9施設あり老朽化が進行している。その中で東光保育所は築44年を経過しており最も古い施設である。施設のあり方について安心安全、保育環境の充実という観点から、建替えを検討していくべきではないか。

答弁2 今後の施設整備について十分に検討したい

松長子育て支援部長

緊急性、代替となる保育施設の有無等を総合的に勘案し、公立施設全体での優先づけを行った上で示したい。特に東光保育所は八次地域にあり、将来的な人口推計と地域の中での利用児童数の推計を行い、民間を含め全体の定員を定める必要がある。今後の施設整備について十分に検討したい。東光保育所は最も優先度の高い施設の1つだと認識している。施設計画の優先順位の中で建て替え、または大規模改修についても検討していきたい。



質問1
ICTを活用した福祉等の施策は

- ① 関係機関をつなぎ、乳幼児から成人まで切れ目のない発達障害支援システムの構築を提案してから10年。研究や協議内容、導入しない理由を伺う。
- ② 交通空白地にICTを活用したシステムを導入して交通弱者の不便を解消できないか。
- ③ 県医師会が医療機関などで患者の診療情報を共有するひろしま医療情報ネットワーク（通称HMネット）の普及の状況は。
- ④ リモート講座を利用できるように、貸館利用できる公共施設にWi-Fi整備を求める。

答弁1
今後検討していく

- ① 湖南市のように、システム構築する方法もあるが、関係者による連携強化の課題整理を行い、DX推進による母子カルテの電子化も含め、新たな情報共有システムを検討する。
- ② デジタル技術を活用した移動利便性の向上等、地域の実態に応じた地域公

中原地域振興部長

公共交通となるよう今後も調査・研究を進める。

片岡市民病院部事務部長

- ③ 三次市内の参加施設は、開示病院として三次地区医療センターと市立三次中央病院の2施設、その他医療機関が13施設、薬局が3施設という状況である。

質問2
防災士の位置付けを明確にできないか

堀川副市長

- ④ コロナ禍で市民の間にも、ICT利活用の機運が高まっている。国の第3次新型コロナウイルス感染症対応創生臨時交付金の活用も視野に入れ、市内公共施設への整備を検討していく。

答弁2
防災士の活用を積極的に働きかけていきたい

川村危機管理監

防災士は、住民等を対象として防災意識の啓発を行うための知識とスキルを身につけることを目的とした民間資格であり、関係法令に防災関係機関として位置付けがないため、防災士というだけでは災害時に組織的な活動がしにくいと考えられる。

防災士を組織に位置付けることは、自主防災組織や消防団の災害時の活動に大きな力になり得るため、市としても自主防災組織、消防団及び三次市防災士ネットワークに対して、防災士の活用を積極的に働きかけていきたい。



質問1
本市に適正な予算規模へ縮小を

交付税の合併特例の終了により、10数億の基金を取り崩さなければ財政運営できない状況が続いており、このままでは10年程度で基金は尽きてしまう。財源不足の解消は急務だ。新規事業をする際は必ず同額以上の既存事業の廃止を行うなど、予算編成時に厳しい縛りや基準を設けるべきではないか。

答弁1
経費の節減に取り組んでいる

細美総務部長

総合計画、施政方針で示した7つの重点項目に沿って、市民生活に必要な施策を進めているが、財源には限りがあり、後の世代に負担を残さない持続可能なまちづくりへの取組を積極的に進めていく必要がある。

予算編成では、各種事業の費用対効果を踏まえ、PDCAサイクル、スクラップアンドビルドを行いながら、経費の節減に取り組んでいる。

質問2
財政改善計画の策定、公表を

行財政改革プラン等の効果額も考慮に入れた財政改善計画を定め、毎年度、その目標数値内で収まる財政運営、基金繰入、起債の借入等を行うべきだ。

悪化する財政状況を着実に改善させるための将来ビジョンが必要では。

答弁2
財政健全化に向けた計画が必要になると考えている

細美総務部長

財政運営の指針とし、実施計画策定の指標として、策定年度後の向こう3年間の財政計画を策定している。各年度の計画額には、行財政改革推進計画の各項目を詳細には反映していないが、行財政改革大綱や公共施設再編計画等の基本的な考え方を意識しつつ策定している。

厳しい財政状況が続くと想定しており、その状況を市民に丁寧に説明しながら、限られた財源を選択と集中により本来に必要な事業を行う必要があるため、今後、財政健全化に向けた計画が必要になると考えている。



適正な予算規模へ縮小を

「あっちこっち三次」市議会トピックスのコーナーに出演！

三次市議会では、三次ケーブルビジョンで放送している「あっちこっち三次」市議会トピックスのコーナーに7月から毎月1回出演します。毎回、各常任委員会から2人出演し、常任委員会の取組等を中心に、議会活動を市民のみなさんにお知らせします。

スタジオから生放送で議会情報をお届けしますので、ぜひご覧ください。

チャンネル：111ch

番組名：あっちこっち三次（市議会トピックスのコーナー）

放送時間：17時30分～（生放送）、再放送あり

放送日：7月から毎月第4水曜日（放送日は予定です。）

※放送日、放送予定等は変更になる場合があります。

※番組内容や放送に関することは三次ケーブルビジョンへお問い合わせください。

株式会社三次ケーブルビジョン

TEL:0824-65-2211 FAX:0824-65-0066

詳細は
こちら→



スマホやパソコンでも

(((議会配信)))

■ 議会中継・録画配信

開会日は中継を配信！会議後には録画もアップしています。

三次市議会 インターネット配信

インターネット配信ページ

■ アプリ マチイロ

運営：株式会社ホープ/福岡市

みよし市議会だよりがアプリで読めます。ぜひご利用ください。

※アプリ利用料は無料ですが、情報の受信には通信料が必要となります。



Android



iOS



議会のうごき

2021(令和3)年
2月1日～4月30日

2月

- 3日 産業建設常任委員会
- 8日 教育民生常任委員会
- 16日 議会運営委員会、全員協議会
- 24日 市議会トピックス出演(広報広聴常任委員会)
- 25日 議会運営委員会
- 26日 3月定例会本会議、予算決算常任委員会、全員協議会

3月

- 1日 3月定例会本会議(一般質問)
- 2日 3月定例会本会議(一般質問)、広報広聴常任委員会
- 3日 3月定例会本会議(一般質問)、総務常任委員会、教育民生常任委員会
- 4日 産業建設常任委員会
- 5日 総務常任委員会
- 8日 教育民生常任委員会
- 10日 予算決算常任委員会、会派代表者会議
- 11日～15日 予算決算常任委員会
- 16日 予算決算常任委員会(総務分科会、教育民生分科会、産業建設分科会)、議会運営委員会
- 17日 予算決算常任委員会、本会議、予算決算常任委員会
- 19日 議会運営委員会、3月定例会本会議、議会運営委員会、全員協議会
- 23日 教育民生常任委員会
- 24日 市議会トピックス出演(予算決算常任委員会)

4月

- 8日 会派代表者会議
- 14日 広報広聴常任委員会
- 19日 議会運営委員会
- 20日 広報広聴常任委員会
- 23日 令和3年第2回臨時会、全員協議会

次期定例会は

6月18日(金)に開会する予定です。

請願・陳情の提出は、6月4日(金)正午まで

陳情・請願 市政についての意見や要望を直接市議会に提出すること。議員の紹介のあるものを請願と言います。

第3回

傍聴者に聞いた！
「傍聴ってこうだったのか!!!」

3月定例会を傍聴に来られた方にインタビューしました。なぜ傍聴したの？どうだった？？これを参考にみなさんも議会を傍聴してみませんか？

傍聴のきっかけは何ですか？



徳岡委員



Sさん

一般質問に男女共同参画の質問があったので来ました。

傍聴の感想を教えてください！



徳岡委員



Sさん

緊張感があってよかったわ。議員も率先して男女共同参画を政策提言してほしいと思います。

議場に出席している女性の割合も増えてきています！
ご意見ありがとうございました。



徳岡委員



傍聴のきっかけは何ですか？



中原委員



小迫さん

応援している議員さんの一般質問があったので傍聴に来ました。

傍聴の感想を教えてください！



中原委員



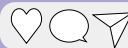
小迫さん

質問時間が短いかなど思いました。もっとしっかり聞きたいですね。

いつも傍聴ありがとうございます。
貴重なご意見ありがとうございます。
また傍聴に来てくださいね。



中原委員



インタビューと議会だよりへの掲載を快諾していただいたみなさまありがとうございました。また、今回はスペースの関係でインタビューを受けてくださった方全員を掲載することができず申し訳ありません。

三次市議会では、傍聴者の間隔を空けるなど、感染症対策を実施して傍聴してもらえるようにしています。ケーブルテレビでの放送やインターネット配信も実施していますので、そちらもぜひご覧ください。

お問い合わせは 議会事務局へ

TEL 0824-62-6179 FAX 0824-62-6110 Eメールアドレス gikaijimu@city.miyoshi.hiroshima.jp

みよし紀行

ななもり づか
七森(盛)塚

はたがえし たかつら
旗返城主江田隆運は、これまで毛利氏と同盟関係にありましたが、庄原の山之内氏に誘われ、尼子氏に味方しました。このことを知った毛利元就は、大内氏に援軍を求め進攻してきました。

強弓で知られた坂田原蕃がよき敵ござんなれとひょーとうち放てば前方より7人が田楽刺しに一矢で射抜かれました。射抜かれた武士は隆運救援のためにかけつけた尼子の援軍だったのです。

後、邑人はあわれな武士たちを厚く葬りました。これを七森(盛)塚と呼ぶようになりました。

(川西郷土史研究会の由来を要約)

(保実 治)



あとがき

3月定例会は主に新年度予算審議です。財政は大丈夫か？新規事業は？廃止される事業は？新型コロナウイルス感染症対策は？などなど、一般質問や予算審議で議員は執行部に対し質問を行い審議は進みました。特に、予算決算常任委員会では、連日午後5時を過ぎても活発な質疑がありました。

当初予算編成後に決定された参議院議員再選挙の執行に伴う予算と新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(第3次分)が交付されたことにより、三次市として取り組む11事業推進のため、今期定例会には令和3年度一般会計補正予算(案)が(第1号)(第2号)と2度も提出されました。新年度予算と補正予算、議決された事業予算がスムーズに市民のために執行されることを願うものです。

(横光春市)